



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 エステー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4951 URL <https://www.st-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 鈴木 貴子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 吉澤 浩一

TEL 03-3367-6314

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,440	0.8	2,406	22.1	2,448	23.3	1,703	26.3
2019年3月期第2四半期	24,239	1.5	1,971	22.6	1,985	21.6	1,349	19.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 992百万円 (4.2%) 2019年3月期第2四半期 952百万円 (62.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	77.05	76.88
2019年3月期第2四半期	61.12	60.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	43,191	29,707	67.7	1,322.59
2019年3月期	41,976	29,223	68.2	1,295.38

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 29,249百万円 2019年3月期 28,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		18.00		18.00	36.00
2020年3月期		18.00			
2020年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	3.6	2,900	2.1	2,850	4.7	1,800	0.2	81.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	23,000,000 株	2019年3月期	23,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	884,594 株	2019年3月期	887,544 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	22,113,922 株	2019年3月期2Q	22,078,388 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

2019年10月31日(木)に開催予定の決算説明会後、速やかに当社ウェブサイト「株主・投資家情報」に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く米中貿易摩擦等により成長が鈍化した世界経済の影響を受けたものの、高水準で推移する企業の設備投資や雇用情勢の改善を背景とした堅調な個人消費により、国内経済の回復基調は継続しました。一方、引き続き米中貿易摩擦による中国経済の減速が世界経済に与える影響等が懸念される他、消費税増税後の個人消費の動向等、先行きに対する不透明感は継続しております。

こうした状況の中、当社グループはブランド価値経営の下、今期は「主力ブランド育成・強化」「新分野・新市場」「海外 成長への基盤づくり」「サーモケア 成長事業へ」「成長に向けた体制づくり」の5つの重点ポイントに取り組んでおります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、サーモケアが大きく落ち込んだものの、エアケアや衣類ケアなどの主力カテゴリーで数量を伸ばした結果、244億40百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

利益面では、高付加価値品の販売数量増加や、原価低減に向けた取り組みによりコストダウンを図ったことで売上総利益が増加したこと等により、営業利益24億6百万円（同22.1%増）、経常利益24億48百万円（同23.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益17億3百万円（同26.3%増）となりました。

当社グループの事業セグメントは、「生活日用品事業」の単一セグメントとしておりますが、カテゴリー別の業績は以下のとおりであります。

エアケア（消臭芳香剤）は、成長カテゴリーと位置付けており、上質な香りにこだわった「消臭力 Premium Aroma」シリーズの商品ラインアップを拡充させることにより市場を活性化させる取り組みを進めております。その結果、「消臭力 トイレ用 Premium Aroma」や「玄関・リビング用 消臭力 Premium Aroma Stick」等の高単価・高付加価値品の売上が貢献したこと等により、売上高は113億93百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）は、成熟した傾向にある市場のため、多様なニーズの深耕として既存品と異なるターゲットへの訴求と収納形態の変化に対応する取り組みを進めております。春先は天候不順の影響により需要がなかなか回復しなかったものの、消費税増税の影響や、エアケアで好評な「Premium Aroma」シリーズの香りを使用した新製品の「かおりムシューダ Premium Aroma」が貢献した他、需要が伸びる衣替えシーズンを意識した効率的な店頭販促活動を行った結果、売上高は54億29百万円（同3.6%増）となりました。

サーモケア（カイロ）は、成長事業の柱としてヘルスケア市場や海外市場への展開を目指す取り組みを進めております。前期の記録的な暖冬の影響により返品が増加したことや、消費税増税の影響で売場の立ち上げが遅れたこと等により、売上高は8億72百万円（同24.8%減）となりました。

ハンドケア（手袋）は、機能性とデザイン性を高めることにより、マーケットを活性化させる取り組みを進めております。海外向けの販売が低迷しているものの、業務用手袋の国内売上は好調に推移したこと等により、売上高は25億65百万円（同2.7%増）となりました。

湿気ケア（除湿剤）は、競争が激しい市場であるため差別化により、ユーザー拡大に向けた取り組みを進めております。例年より梅雨明けが遅れた影響の他、パッケージのリフレッシュによりブランド価値を高め、マーケットの拡大を図ったこと等により、売上高は20億81百万円（同6.8%増）となりました。

ホームケア（その他）は、国内の新分野へのチャレンジとして商品拡充に向けた取り組みを進めております。前秋冬に「クリアフォレスト」の新たな事業展開として発売した「MoriLabo 花粉バリアスティック」の花粉シーズン終了後の返品が影響したこと等により、売上高は20億98百万円（同1.6%減）となりました。

カテゴリー	売上高	前年同期比
エアケア（消臭芳香剤）	11,393百万円	1.2%増
衣類ケア（防虫剤）	5,429百万円	3.6%増
サーモケア（カイロ）	872百万円	24.8%減
ハンドケア（手袋）	2,565百万円	2.7%増
湿気ケア（除湿剤）	2,081百万円	6.8%増
ホームケア（その他）	2,098百万円	1.6%減

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して12億15百万円増加し、431億91百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少36億98百万円、受取手形及び売掛金の増加28億20百万円、商品及び製品の増加15億34百万円、のれんの増加14億9百万円、投資有価証券の減少9億4百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して7億30百万円増加し、134億83百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3億32百万円、未払法人税等の増加4億31百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して4億84百万円増加し、297億7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加13億1百万円、その他有価証券評価差額金の減少6億53百万円等であります。

以上の結果、自己資本は292億49百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.5ポイント減少し、67.7%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して37億45百万円減少し、73億26百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億78百万円の支出(前年同期は13億24百万円の支出)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益24億31百万円、減価償却費6億64百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額28億30百万円、たな卸資産の増加額14億98百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、29億67百万円の支出(前年同期は11億79百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出8億4百万円、事業譲受による支出20億40百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億51百万円の支出(前年同期は3億23百万円の支出)となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増額1億48百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払4億1百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月25日の決算短信で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,074,413	7,376,244
受取手形及び売掛金	5,281,063	8,101,977
商品及び製品	4,846,045	6,380,233
仕掛品	241,656	228,572
原材料及び貯蔵品	799,778	1,174,320
その他	559,818	544,039
貸倒引当金	△4,064	△7,118
流動資産合計	22,798,711	23,798,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,724,176	4,653,591
機械装置及び運搬具（純額）	1,969,958	2,075,988
工具、器具及び備品（純額）	230,128	257,002
土地	3,411,323	3,313,068
リース資産（純額）	271,524	210,616
建設仮勘定	189,890	296,297
有形固定資産合計	10,797,003	10,806,564
無形固定資産		
のれん	-	1,409,431
その他	220,905	255,903
無形固定資産合計	220,905	1,665,334
投資その他の資産		
投資有価証券	7,048,858	6,143,988
長期貸付金	8,106	6,227
退職給付に係る資産	7,923	8,180
繰延税金資産	60,804	130,707
その他	1,033,787	632,182
投資その他の資産合計	8,159,479	6,921,286
固定資産合計	19,177,388	19,393,184
資産合計	41,976,099	43,191,456

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,458,512	2,790,664
電子記録債務	2,751,600	2,935,471
短期借入金	518,793	681,415
リース債務	200,231	147,653
未払金	2,939,488	2,935,281
未払費用	618,097	678,800
未払法人税等	336,952	768,426
未払消費税等	10,624	93,313
返品調整引当金	106,100	91,000
営業外電子記録債務	349,078	183,835
その他	54,863	155,562
流動負債合計	10,344,342	11,461,424
固定負債		
リース債務	95,396	46,146
繰延税金負債	543,666	254,172
再評価に係る繰延税金負債	262,175	262,175
役員退職慰労引当金	114,716	114,716
役員株式給付引当金	74,284	80,200
退職給付に係る負債	1,264,874	1,257,366
その他	53,340	7,369
固定負債合計	2,408,455	2,022,147
負債合計	12,752,797	13,483,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	13,821,557	15,122,690
自己株式	△1,163,347	△1,159,256
株主資本合計	26,791,524	28,096,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,733,279	2,080,107
土地再評価差額金	△537,202	△537,202
為替換算調整勘定	△328,716	△376,764
退職給付に係る調整累計額	△14,937	△13,193
その他の包括利益累計額合計	1,852,423	1,152,947
新株予約権	14,126	13,667
非支配株主持分	565,228	444,520
純資産合計	29,223,301	29,707,883
負債純資産合計	41,976,099	43,191,456

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	24,239,724	24,440,393
売上原価	13,644,722	13,376,082
売上総利益	10,595,002	11,064,311
返品調整引当金繰入額	78,100	91,000
返品調整引当金戻入額	127,100	106,100
差引売上総利益	10,644,002	11,079,411
販売費及び一般管理費	8,672,729	8,672,464
営業利益	1,971,272	2,406,946
営業外収益		
受取利息	3,673	3,497
受取配当金	77,211	78,283
仕入割引	76,995	75,361
持分法による投資利益	39,205	59,592
その他	51,974	70,171
営業外収益合計	249,061	286,905
営業外費用		
支払利息	2,713	7,211
売上割引	222,994	226,826
その他	9,230	11,404
営業外費用合計	234,937	245,442
経常利益	1,985,396	2,448,410
特別利益		
固定資産売却益	599	350
投資有価証券売却益	171	-
特別利益合計	771	350
特別損失		
固定資産除売却損	6,042	16,763
特別損失合計	6,042	16,763
税金等調整前四半期純利益	1,980,125	2,431,996
法人税、住民税及び事業税	618,498	789,986
法人税等調整額	23,328	△73,161
法人税等合計	641,826	716,824
四半期純利益	1,338,299	1,715,171
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△11,148	11,324
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,349,448	1,703,846

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,338,299	1,715,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△280,814	△653,053
為替換算調整勘定	△87,336	△61,367
退職給付に係る調整額	3,229	1,744
持分法適用会社に対する持分相当額	△21,210	△10,463
その他の包括利益合計	△386,131	△723,141
四半期包括利益	952,167	992,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	992,452	1,004,370
非支配株主に係る四半期包括利益	△40,285	△12,340

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,980,125	2,431,996
減価償却費	513,882	664,770
のれん償却額	-	48,601
固定資産除売却損益(△は益)	5,442	16,413
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△171	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,477	3,101
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26,150	△6,312
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,250	-
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	2,617	5,915
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△49,000	△15,100
受取利息及び受取配当金	△80,885	△81,780
支払利息	2,713	7,211
為替差損益(△は益)	△6,037	△15,259
持分法による投資損益(△は益)	△39,205	△59,592
売上債権の増減額(△は増加)	△2,875,860	△2,830,299
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,915	△1,498,016
仕入債務の増減額(△は減少)	△184,429	489,510
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	△331	499,219
その他	△43,112	249,458
小計	△760,789	△90,162
利息及び配当金の受取額	83,633	87,926
利息の支払額	△1,960	△6,068
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△645,173	△370,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,324,289	△378,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△52,050
定期預金の払戻による収入	34,042	-
有形固定資産の取得による支出	△1,189,365	△804,185
有形固定資産の売却による収入	610	99,714
事業譲受による支出	-	△2,040,848
投資有価証券の取得による支出	△5,167	△4,876
投資有価証券の売却による収入	378	-
子会社出資金の取得による支出	-	△65,958
その他	△19,868	△99,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,179,371	△2,967,242
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	136,927	148,929
自己株式の取得による支出	△422	△88
自己株式の処分による収入	20,831	2,838
配当金の支払額	△401,045	△401,831
その他	△79,711	△101,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323,420	△351,979
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50,732	△47,774
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,877,814	△3,745,640
現金及び現金同等物の期首残高	11,865,812	11,071,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,987,998	7,326,344

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

記載すべき重要な事項はありません。

（セグメント情報）

前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

当社グループは、「生活日用品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。